

II SWOT分析と8つの「まちづくりの分野」に関するSDGs

第2次戦略ビジョンの策定に当たっては、SWOT分析の手法を採用しています。

SWOT分析とは、企業の状況等を強み(Strengths)、弱み(Weaknesses)、機会(Opportunities)、脅威(Threats)の4項目で整理し、分析した上で今後の経営戦略を導くための手法です。一般的に企業がSWOT分析を行う場合には、自社が持つ社内リソースなどの「内部環境」と、自社を取り巻く競合他社や市場などの「外部環境」を照らし合わせるにより経営戦略を導いていきます。

札幌市では、分析の対象を「札幌市役所」という組織ではなく、札幌市という「まち」として捉え、SWOT分析を行いました。

具体的には、第2次戦略ビジョン(ビジョン編)の第2章(札幌市の現在と将来に関する考察(本書p8~52))から、札幌市という「まち」の強み、弱み、機会と脅威を次のとおり整理し、第3章(目指すべき都市像とまちづくりの重要概念(本書p54~56))に定める「まちづくりの重要概念」を踏まえながら考察を行うことで、8つの「まちづくりの分野」と20の「まちづくりの基本目標」を導きました。

○強み(Strengths)：まちが持つ優れた内部環境

内部環境の要素		強み
人的資源	○市民	○市民愛着度の高さ
財務的資源	○自治体の財政力 ○市民の経済力	○財政の健全性
物的資源	○天然資源(地理、自然など) ○都市基盤	○豊かな自然環境 ○都市機能の集積
情動的資源	○外部からの評価	○環境面での高い評価 ○スタートアップ・エコシステムの拠点としての評価 ○都市としての高いブランドイメージ ○食の魅力 ○観光満足度の高さ ○住みやすさ

○弱み(Weaknesses)：まちが持つ不利な内部環境

内部環境の要素		弱み
人的資源	○市民	○地域意識や人間関係の希薄化 ○女性や高齢者の有業率の低さ ○若い世代における長時間労働の傾向 ○子育てへの負担感を抱える市民の増加 ○市民の健康寿命の低さ ○生産年齢人口の減少や少子高齢の人口構造(合計特殊出生率の低さや若年層の道外流出)
財務的資源	○自治体の財政力 ○市民の経済力	○1人当たりの市民所得の低さ ○財政力指数の低さ
物的資源	○天然資源(地理、自然など) ○都市基盤	○公共・民間を含めた施設の老朽化

○機会(Opportunities)：まちの価値の向上を促進する外部環境

外部環境の要素		強み
政治・法律	○国の動向	○人生100年時代の到来（高齢者雇用安定法の制定（70歳までの就労確保を努力義務）） ○デジタル技術の急速な進歩（Society5.0の推進）
社会・経済	○社会経済情勢	○価値観やライフスタイルの多様化（ダイバーシティ） ○人生100年時代の到来（ライフシフト） ○気候変動などに伴う地球規模での環境保全の動き（世界的なESG投資意欲の高まり） ○都市のリニューアル（令和12年度（2030年度）末の北海道新幹線の札幌開業や投資意欲の高まり）
エコロジー	○環境行動	○気候変動などに伴う地球規模での環境保全の動き（脱炭素）
技術	○技術革新	○デジタル技術の急速な進歩（AI、IoTなど）

○脅威(Threats)：まちの価値の向上を阻害する外部環境

外部環境の要素		弱み
社会・経済	○社会経済情勢	○価値観やライフスタイルの多様化（子どもの貧困や児童虐待の増加・教育格差） ○人生100年時代の到来（全国的な少子高齢化の進行） ○新型コロナウイルス感染症の感染拡大
エコロジー	○環境行動	○頻発する自然災害

220ページから227ページまでの見方

① 1 子ども・若者分野

○考察の流れ

② 【まちづくりの重要概念】
①ユニバーサル（共生） ②ウェルネス（健康） ③スマート（快適・先端）

SWOT	Strengths	Weaknesses	Opportunities	Threats
①	W×O	○地域意識や人間関係の希薄化 ○若い世代における長時間労働の傾向 ○子育てへの負担感を抱える市民の増加 ○生産年齢人口の減少や少子高齢化の人口構造（合計特殊出生率の低さや若年層の海外流出） ○1人当たりの市民所得の低さ	○価値観やライフスタイルの多様化（ダイバーシティ） ○人生100年時代の到来（ライフシフト）	
②	W×T	○子育てへの負担感を抱える市民の増加 ○生産年齢人口の減少や少子高齢化の人口構造（合計特殊出生率の低さや若年層の海外流出） ○1人当たりの市民所得の低さ		○価値観やライフスタイルの多様化（子どもの貧困や児童虐待の増加・教育格差） ○人生100年時代の到来（全国的な少子高齢化の進行）
③	S×O	○都市機能の集積	○価値観やライフスタイルの多様化（ダイバーシティ） ○デジタル技術の急速な進歩（Society5.0の推進・AI、IoTなど）	
	W×O	○地域意識や人間関係の希薄化 ○市民の健康寿命の低さ	○価値観やライフスタイルの多様化（ダイバーシティ） ○人生100年時代の到来（ライフシフト）	

③ 考察

令和2年（2020年）の合計特殊出生率が1.09と低い数値となっているほか、昨今では子育てへの負担感を抱える市民が増加するとともに、市民アンケートの結果を見ても子育てに関するニーズが高まっているといえます。これらのことから、社会全体で子どもと子育て家庭を支えていること④や、性別を問わず働きながら子育てができる環境が整っていること⑤が重要です。

④ また、全国的に子どもの貧困や児童虐待が増加するとともに、教育格差が懸念される中、社会全体で虐待やいじめなどの子どもの権利が侵害される事態を防いでいくこと⑥が必要です。加えて、生産年齢人口の更なる減少が予想されており、若年層の海外流出という課題がある中で、将来を担う若者が未来への希望を持ち、結婚や就労などの理想のライフプランを実現していること⑦が求められます。

⑤ さらに、国では、Society 5.0の時代を生きる子どものために「個別最適化され、創造性を育む教育」の実現を目指しており、子どもが一人一人の状況に応じた最適な教育環境の中で、健やかに⑧、互いを尊重し合いながら学んでいること⑨が重要です。

⑥ 基本目標1
安心して子どもを産み育てることができる、子育てに優しいまち

⑦ 基本目標2
誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち

⑧ 基本目標3
一人一人の良きや可能性を大切に教育を通して、子どもが健やかに育つまち

⑥ ○子ども・若者分野に関するSDGsのゴール

- ① まちづくりの分野
「まちづくりの分野」名を記載しています。
- ② まちづくりの重要概念
ビジョン編第3章に定める「ユニバーサル（共生）」・「ウェルネス（健康）」・「スマート（快適・先端）」の3つの「まちづくりの重要概念」を記載しています。
- ③ SWOT 分析
まちづくりの分野ごとに、強み(Strengths)、弱み(Weaknesses)、機会(Opportunities)、脅威(Threats)の4項目を整理し、SWOT分析を行った結果を記載しています。
- ④ 考察
「まちづくりの重要概念」と SWOT 分析の結果を踏まえ、今後重要だと考えられることなどを考察として記載しています。
- ⑤ まちづくりの基本目標
④の考察から導き出される「まちづくりの基本目標」を記載しています。
- ⑥ SDGsのゴール
各「まちづくりの分野」に関するSDGsのゴールを全て記載しています。

1 子ども・若者分野

○考察の流れ

【まちづくりの重要概念】

①ユニバーサル（共生） ②ウェルネス（健康） ③スマート（快適・先端）

番号	SWOT	Strengths	Weaknesses	Opportunities	Threats
①	W×O		<ul style="list-style-type: none"> ○地域意識や人間関係の希薄化 ○若い世代における長時間労働の傾向 ○子育てへの負担感を抱える市民の増加 ○生産年齢人口の減少や少子高齢の人口構造（合計特殊出生率の低さや若年層の道外流出） ○1人当たりの市民所得の低さ 	<ul style="list-style-type: none"> ○価値観やライフスタイルの多様化（ダイバーシティ） ○人生100年時代の到来（ライフシフト） 	
②	W×T		<ul style="list-style-type: none"> ○子育てへの負担感を抱える市民の増加 ○生産年齢人口の減少や少子高齢の人口構造（合計特殊出生率の低さや若年層の道外流出） ○1人当たりの市民所得の低さ 		<ul style="list-style-type: none"> ○価値観やライフスタイルの多様化（子どもの貧困や児童虐待の増加・教育格差） ○人生100年時代の到来（全国的な少子高齢化の進行）
③	S×O	○都市機能の集積		<ul style="list-style-type: none"> ○価値観やライフスタイルの多様化（ダイバーシティ） ○デジタル技術の急速な進歩（Society5.0の推進・AI、IoTなど） 	
	W×O		<ul style="list-style-type: none"> ○地域意識や人間関係の希薄化 ○市民の健康寿命の低さ 	<ul style="list-style-type: none"> ○価値観やライフスタイルの多様化（ダイバーシティ） ○人生100年時代の到来（ライフシフト） 	

考察

①	令和2年（2020年）の合計特殊出生率が1.09と低い数値となっているほか、昨今では子育てへの負担感を抱える市民が増加するとともに、市民アンケートの結果を見ても子育てに関するニーズが高まっているといえます。これらのことから、社会全体で子どもと子育て家庭を支えていること①や、性別を問わず働きながら子育てができる環境が整っていること①が重要です。
②	また、全国的に子どもの貧困や児童虐待が増加するとともに、教育格差が懸念される中、社会全体で虐待やいじめなどの子どもの権利が侵害される事態を防いでいること①が必要です。加えて、生産年齢人口の更なる減少や若年層の道外流出という課題がある中で、将来を担う若者が未来への希望を持ち、結婚や就労などの理想のライフプランを実現していること②が求められます。
③	さらに、国では、Society5.0の時代を生きる子どものために「個別最適化され、創造性を育む教育」の実現を目指しており、子どもが一人一人の状況に応じた最適な教育環境の中で③、健やかに②、互いを尊重し合いながら学んでいること①が重要です。

基本目標1

安心して子どもを産み育てることができる、子育てに優しいまち

基本目標2

誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち

基本目標3

一人一人の良さや可能性を大切にする教育を通して、子どもが健やかに育つまち

○子ども・若者分野に関するSDGsのゴール



2 生活・暮らし分野

○考察の流れ

【まちづくりの重要概念】

㉠ユニバーサル（共生） ㉡ウェルネス（健康） ㉢スマート（快適・先端）

番号	SWOT	Strengths	Weaknesses	Opportunities	Threats
④	W×O		<ul style="list-style-type: none"> ○市民の健康寿命の低さ ○女性や高齢者の有業率の低さ 	<ul style="list-style-type: none"> ○価値観やライフスタイルの多様化（ダイバーシティ） ○人生100年時代の到来（ライフシフト・高齢者雇用安定法の制定（70歳までの就労確保を努力義務）） ○デジタル技術の急速な進歩（Society5.0の推進・AI、IoTなど） 	
⑤	S×O	<ul style="list-style-type: none"> ○都市機能の集積 ○住みやすさ 		<ul style="list-style-type: none"> ○価値観やライフスタイルの多様化（ダイバーシティ） ○人生100年時代の到来（ライフシフト） 	

考 察

④	<p>高齢化が引き続き進行し、2040年代には高齢者人口が全体の4割になることが見込まれていますが、札幌市民の健康寿命は全国平均よりも低くなっています。これらのことから、高齢者などが必要な支援を受けられるとともに、多様な主体が連携し、健康づくりや介護予防の取組などが更に進んでいるほか、市民や企業が健康への意識を高く持っていること㉡が重要です。加えて、人生100年時代の到来を受けて、生涯学習・学び直しの機会が充実し、仕事など、その成果を生かすことができる環境が整っていること㉡も必要です。</p>
⑤	<p>また、都市機能の集積という強みを生かしながら、建物や道路などのバリアフリー化が進んでいること㉠や、デジタル技術の急速な進歩などの機会を捉え、行政手続などにおけるICTの活用㉢が進んでいるなど、市民生活の利便性が向上していることも求められます。さらに、雪対策については、従事者の不足など、今後の除排雪体制の維持に課題を抱えており、市民や企業との連携やICTの活用㉢などにより、通勤や通学、外出などの市民生活や経済活動を支える冬期の道路環境を確保していくことが重要です。</p>

基本目標4

誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち

基本目標5

生活しやすく住みよいまち

○生活・暮らし分野に関するSDGsのゴール



3 地域分野

○考察の流れ

【まちづくりの重要概念】
 ㊦ユニバーサル（共生） ㊦ウェルネス（健康） ㊦スマート（快適・先端）

番号	SWOT	Strengths	Weaknesses	Opportunities	Threats
⑥	W×O		○地域意識や人間関係の希薄化	○価値観やライフスタイルの多様化（ダイバーシティ）	
⑦	W×O		○地域意識や人間関係の希薄化	○価値観やライフスタイルの多様化（ダイバーシティ） ○人生100年時代の到来（ライフシフト）	

考 察

⑥ まちが成熟期を迎え、個々の価値観が多様化しているとともに、市民アンケートの結果などから、地域意識の希薄化という課題が顕在化していることが明らかとなっています。これらのことから、地域コミュニティ等において、年齢・性別・障がいの有無・国籍・民族・宗教・文化などの違いを理解し認め合うなどの心のバリアフリー㊦が進み、これらの違いを超えた交流㊦が行われていることが重要です。

⑦ また、年齢にかかわらず誰もが地域コミュニティを育み、大切にする意識を持ち㊦、ライフスタイルに合わせてまちづくり活動に参加できるとともに㊦、こうした活動の担い手の育成が進んでいること㊦が必要です。

基本目標6
互いに認め合い、支え合うまち

基本目標7
誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち

○地域分野に関するSDGsのゴール



4 安全・安心分野

○考察の流れ

【まちづくりの重要概念】

①ユニバーサル（共生） ②ウェルネス（健康） ③スマート（快適・先端）

番号	SWOT	Strengths	Weaknesses	Opportunities	Threats
⑧	S×T	○市民愛着度の高さ ○都市機能の集積 ○住みやすさ			○頻発する自然災害 ○新型コロナウイルス感染症の感染拡大
⑨	W×O		○生産年齢人口の減少や少子高齢の人口構造（合計特殊出生率の低さや若年層の道外流出）	○デジタル技術の急速な進歩（Society5.0の推進・AI、IoTなど）	

考 察

⑧	地震災害や風水害などの自然災害の頻発や新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、日頃の備え①や情報伝達手段③が充実し、災害時や感染症の感染拡大時にも、医療や要配慮者への支援①などが適切に提供されているとともに、迅速な生活再建支援などが行われていることが重要です。	➡	基本目標8 誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち
⑨	また、高齢者人口の更なる増加が予想される中、交通や食についての安全が保たれている②とともに、デジタル化の進展により懸念される犯罪やトラブルの発生が防止されていること③も必要です。		基本目標9 日常の安全が保たれたまち

○安全・安心分野に関するSDGsのゴール



5 経済分野

○考察の流れ

【まちづくりの重要概念】

⑩ユニバーサル（共生） ⑪ウェルネス（健康） ⑫スマート（快適・先端）

番号	SWOT	Strengths	Weaknesses	Opportunities	Threats
⑩	S×O	<ul style="list-style-type: none"> ○都市機能の集積 ○都市としての高いブランドイメージ ○食の魅力 ○観光満足度の高さ 		<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル技術の急速な進歩（Society5.0の推進・AI、IoTなど） ○都市のリニューアル（令和12年度（2030年度）末の北海道新幹線の札幌開業や投資意欲の高まり） 	
⑪	S×O	<ul style="list-style-type: none"> ○都市機能の集積 ○スタートアップ・エコシステムの拠点としての評価 		<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル技術の急速な進歩（Society5.0の推進・AI、IoTなど） 	
	W×O		<ul style="list-style-type: none"> ○1人当たりの市民所得の低さ ○生産年齢人口の減少や少子高齢の人口構造（合計特殊出生率の低さや若年層の道外流出） 	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル技術の急速な進歩（Society5.0の推進・AI、IoTなど） 	
⑫	W×T		<ul style="list-style-type: none"> ○女性や高齢者の有業率の低さ ○若い世代における長時間労働の傾向 ○子育てへの負担感を抱える市民の増加 ○生産年齢人口の減少や少子高齢の人口構造（合計特殊出生率の低さや若年層の道外流出） ○1人当たりの市民所得の低さ 		<ul style="list-style-type: none"> ○人生100年代の到来（全国的な少子高齢化の進行） ○新型コロナウイルス感染症の感染拡大

考察

⑩	一人当たりの市民所得が政令指定都市の中でも低位であることや、生産年齢人口の減少による経済規模の縮小、人手不足などが課題となっています。これらのことから、若者の道外流出の抑制や国内外からの企業、人材等の流入の促進、さらには市民所得の増加に向けて、食の魅力や観光満足度の高さなどの強みを生かし、札幌市の強みである分野や今後成長が期待される分野の産業が市内経済をけん引していること⑤が重要です。
⑪	また、地域経済を支える中小企業や商店街などの経済活動が活発となり、デジタル技術の活用により生産性が向上している⑤とともに、スタートアップ・エコシステムの拠点としての評価を生かしながら、様々な企業の創業や立地が進み、ビジネスチャンスや新たな価値が創出されていること⑤も必要です。
⑫	さらに、女性や高齢者の有業率の低さや若い世代の有業者における長時間労働という傾向がある中、希望する誰もが安定して働ける仕事に就いている⑪とともに、価値観やライフスタイルに応じて多様で柔軟な働き方ができる環境が整っていること⑩が求められます。

基本目標10
強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち

基本目標11
多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち

基本目標12
雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち

○経済分野に関するSDGsのゴール



6 スポーツ・文化分野

○考察の流れ

【まちづくりの重要概念】

㊦ユニバーサル（共生） ㊦ウェルネス（健康） ㊦スマート（快適・先端）

番号	SWOT	Strengths	Weaknesses	Opportunities	Threats
⑬	S×O	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな自然環境 ○都市機能の集積 ○都市としての高いブランドイメージ ○観光満足度の高さ 		<ul style="list-style-type: none"> ○価値観やライフスタイルの多様化（ダイバーシティ） ○人生100年時代の到来（ライフシフト） ○都市のリニューアル（令和12年度（2030年度）末の北海道新幹線の札幌開業や投資意欲の高まり） 	
⑭	S×O	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな自然環境 ○都市としての高いブランドイメージ ○観光満足度の高さ 		<ul style="list-style-type: none"> ○価値観やライフスタイルの多様化（ダイバーシティ） ○人生100年時代の到来（ライフシフト） 	
⑮	S×O	<ul style="list-style-type: none"> ○市民愛着度の高さ ○豊かな自然環境 ○都市機能の集積 ○都市としての高いブランドイメージ ○観光満足度の高さ 		<ul style="list-style-type: none"> ○価値観やライフスタイルの多様化（ダイバーシティ） ○人生100年時代の到来（ライフシフト） 	

考 察

⑬	豊富な降雪量と都市機能を合わせ持つ世界でも希少な環境を生かし、身近なところでウィンタースポーツを楽しむことができているとともに、ウィンタースポーツの大規模な国際大会を開催することで、世界から注目が集まっていること㊦が重要です。
⑭	また、価値観やライフスタイルが多様化し、人生100年時代が到来する中、四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができる（する・みる・ささえる）環境が整い、身体活動や競技としてのスポーツの振興が進んでいるとともに、健康増進㊦や共生社会の実現㊦、地域活性化などの社会課題が解決されていることも必要です。
⑮	さらに、文化芸術に親しむことができ、創作や表現ができる環境と文化芸術を通じた学びや交流の機会が充実することなどにより、心の豊かさや創造性が育まれているとともに、国際的な文化芸術イベントの開催や様々な分野との連携が進んでいることがまちの魅力となり、にぎわいが生まれていること㊦が求められます。

基本目標13
世界屈指のウィンタースポーツシティ

基本目標14
四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち

基本目標15
文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち

○スポーツ・文化分野に関するSDGsのゴール



7 環境分野

○考察の流れ

【まちづくりの重要概念】

①ユニバーサル（共生） ②ウェルネス（健康） ③スマート（快適・先端）

番号	SWOT	Strengths	Weaknesses	Opportunities	Threats
⑩	S×O	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな自然環境 ○都市機能の集積 ○環境面での高い評価 		<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル技術の急速な進歩（Society5.0の推進・AI、IoTなど） ○気候変動などに伴う地球規模での環境保全の動き（脱炭素・世界的なESG投資意欲の高まり） 	
⑪	S×O	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな自然環境 ○環境面での高い評価 		<ul style="list-style-type: none"> ○価値観やライフスタイルの多様化（ダイバーシティ） ○気候変動などに伴う地球規模での環境保全の動き（脱炭素） 	

考 察

⑩	気候変動などに伴う地球規模での環境保全の動きが加速するとともに、世界的なESG投資への意欲の高まりが見られる中、「LEED for Cities and Communities」の「プラチナ」認証という高い評価を受けた環境面の強みを生かすことが重要です。また、多くの人口を抱える大消費地として道内各地域との連携の下に、道内の豊富な再生可能エネルギーや資源を活用しながら、脱炭素社会の実現に向けて先駆的に取り組むこと③が必要です。
⑪	さらに、豊かな自然環境という強みなどを生かし、うるおいや安らぎを与える森林、公園などが保全・創出されていること②や、防災や市民交流の場としても活用されていること①が求められます。

基本目標16
世界に冠たる環境都市

基本目標17
身近なみどりを守り、育て、自然と共に暮らすまち

○環境分野に関するSDGsのゴール



8 都市空間分野

○考察の流れ

【まちづくりの重要概念】				
㉠ユニバーサル（共生）		㉡ウェルネス（健康）		㉢スマート（快適・先端）

番号	SWOT	Strengths	Weaknesses	Opportunities	Threats
⑱	S×T	<ul style="list-style-type: none"> ○都市機能の集積 ○都市としての高いブランドイメージ ○住みやすさ ○財政の健全性 			○人生100年時代の到来（全国的な少子高齢化の進行）
⑲	S×O	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな自然環境 ○都市機能の集積 		<ul style="list-style-type: none"> ○気候変動などに伴う地球規模での環境保全の動き（脱炭素・世界的なESG投資意欲の高まり） ○都市のリニューアル（令和12年度（2030年度）末の北海道新幹線の札幌開業や投資意欲の高まり） 	
⑳	W×O		<ul style="list-style-type: none"> ○財政力指数の低さ ○公共・民間も含めた施設の老朽化 	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル技術の急速な進歩（Society5.0の推進・AI、IoTなど） ○都市のリニューアル（令和12年度（2030年度）末の北海道新幹線の札幌開業や投資意欲の高まり） 	

考 察

⑱	人口減少・少子高齢化の社会においても、持続可能な都市経営を行うには、主要な交通結節点の周辺などに都市機能の集積が進んでいる㉢とともに、市民生活・経済活動を支える持続可能な交通ネットワークが確立されていること㉠が重要です。	➡	基本目標18 コンパクトで人にやさしい快適なまち
⑲	また、都市のリニューアル時期の到来や令和12年度（2030年度）末の北海道新幹線の札幌駅までの延伸・開業を契機として、国内外から投資を呼び込むことで、都心などで高次の都市機能の集積が進んでいる㉢とともに、広域的な交通ネットワークが充実していること㉢が必要です。		基本目標19 世界を引き付ける魅力と活力あふれるまち
⑳	さらに、公共・民間も含めた施設の老朽化対策が課題となる中、インフラや建築物については、必要な規模や機能を踏まえた計画的な更新や複合化が進んでいる㉢とともに、道路空間を滞留空間として活用するなどの都市アセットの利活用が進んでいること㉡が求められます。		基本目標20 都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち

○都市空間分野に関するSDGsのゴール

